

笹っこのきまり

携帯・スマホ・SNSの使い方編

2019年度 伊丹市立笹原小学校

自分も周りの人も守るために・・・

- ① 使うときは、家の人とルールを決めること
- ② 学校には必要ないので、持っていかないこと
- ③ 困ったときには家の人や先生に相談すること
- ④ 人に言葉を送る前に、読み返すこと
- ⑤ 自分の将来を考えて正しく使うこと

大切なのは、
顔と顔を合わせた
コミュニケーション



(参考)文部科学省

① 使うときは、家の人とルールを決めること

けい帯、スマホ、DS、タブレット、パソコンなど

・ルールの例

- ★ 使うのは夜8時まで。
- ★ 使う場所は家の人がいる前で。
- ★ 充電はリビングで。
- ★ いつでも、親が内容を見てもよい。
- ★ インターネットやアプリのダウンロードを勝手にしない。
- ★ 知らない人と連絡を取らない。
- ★ 知らない人と会わない。



など

けい帯、スマホだけでなく、DSも知らない人とつながります。



② 学校には必要ないので、持っていかないこと

・ けい帯やスマホは学校で使う必要はありません。話したいときは、直接話をしましょう。

③ 困ったときには、家の人や先生に相談すること

・ 友達とのメールやLINEのやり取りの中で、自分たちでは解決しにくいこと、言いにくいことがあれば、家の人や先生など大人に相談しましょう。

(例)
他人の悪口を送っている
人を傷つける画像を送っている
未読がすぐ20件を超える



④ 人に言葉を送る前に、読み返すこと

・ 送るその言葉は、だれが読んでもうれいと思う言葉ですか？自分が送られたら、嫌になる言葉になっていませんか？一度、立ち止まって、落ち着いて読み返してみよう。

⑤ 自分の将来を考えて正しく使うこと

・ 一度、SNSやインターネットに流してしまった情報は、取り消しができません。流す内容が、自分や相手の将来まで傷つけてしまうかもしれません。流す前に、一度考えましょう。

※保護者のみなさまへ※

携帯やスマホは便利な道具ですが、使い方を誤れば、さまざまな問題を起こしたり、危険にさらされたり、知らない間に犯罪になったりします。その危険は、子どもたちだけでは解決できないことがたくさんあり、簡単に被害者にも加害者にもなってしまいます。子どもたちを守る一つとして、フィルタリングは必ずかけてください。

ただのおもちゃとは違うということ、使い方を誤れば危険があることを、お家でもしっかり話し合ってください。学校でも危険についての指導はしますが、ご家庭でもよろしくお願ひします。